

平成 27 年度 保護者向け学校教育に関するアンケート報告書

(第 2 報) (改訂版)

平成 28 年 5 月 10 日 第 2 報 (改訂版)

平成 28 年 4 月 30 日 第 2 報

平成 28 年 4 月 22 日 第 1 報

東京都公立高等学校 PTA 連合会

学校教育委員会

目次

1.	アンケート内容.....	3
(1)	前提条件.....	3
(2)	キャリア教育について.....	3
(3)	教育費用について.....	4
(4)	放課後学習について.....	5
(5)	その他.....	6
2.	アンケート回答.....	7
(1)	前提条件.....	7
(2)	キャリア教育について.....	7
(3)	教育費用について.....	15
(4)	放課後学習について.....	31
(5)	その他.....	42
(6)	回答数.....	42
3.	考察.....	43
(1)	アンケート回答について.....	43
(2)	キャリア教育について.....	43
(3)	教育費用について.....	44
(4)	放課後学習について.....	46

1. アンケート内容

平成 27 年度は、保護者向けに（1）キャリア教育、（2）教育費用、（3）放課後学習に関して Web サイトを利用してアンケートを実施しました。

アンケートの詳細は以下の通りです。

（1）前提条件

設問 1 （お子さまについて）

お子さまの学年を教えてください。（複数回答可）

- 1.(Q1-1) 高校 1 年生(中等教育学校 4 年生)
- 2.(Q1-2) 高校 2 年生(中等教育学校 5 年生)
- 3.(Q1-3) 高校 3 年生(中等教育学校 6 年生)

（2）キャリア教育について

設問 2 （キャリア教育(1)）

お子さんは、自分の将来の職業について具体的なイメージを持っていますか？

- 1.(Q2-1) 持っている
- 2.(Q2-2) 持っていない
- 3.(Q2-3) わからない

設問 3 （キャリア教育(2)）

学校での職業教育(キャリア教育)の内容をご存知ですか？

- 1.(Q3-1) 知っている
- 2.(Q3-2) あまり知らない
- 3.(Q3-3) 全く知らない

設問 4 （キャリア教育(3)）

キャリア教育(2)で知っているにご回答された保護者の方におたずねします。

学校での職業教育(キャリア教育)は十分だと思いますか？

- 1.(Q4-1) 十分である
- 2.(Q4-2) 不十分である
- 3.(Q4-3) わからない

設問 5 （キャリア教育(4)）

職業教育(キャリア教育)についてご意見があれば教えてください。

(3) 教育費用について

設問 6 (教育費用(1))

よろしければ現在のお子さんの構成を教えてください。(複数回答可)

- 1.(Q6-1) 幼稚園・保育園
- 2.(Q6-2) 小学生
- 3.(Q6-3) 中学生(中等教育学校の1～3年を含む)
- 4.(Q6-4) 高校生(中等教育学校の4～6年を含む)
- 5.(Q6-5) 浪人生
- 6.(Q6-6) 専門学校生
- 7.(Q6-7) 短大生・大学生・大学院生
- 8.(Q6-8) 社会人

設問 7 (教育費用(2))

お子さんの教育費用について教えてください。

- 1.(Q7-1) 全く困っていない
- 2.(Q7-2) 何とかなっている
- 3.(Q7-3) どちらともいえない
- 4.(Q7-4) 困っている
- 5.(Q7-5) 大変困っている

設問 8 (教育費用(3))

教育費の負担が重いところはどこですか?(複数回答可)

- 1.(Q8-1) 幼稚園・保育園
- 2.(Q8-2) 小学校
- 3.(Q8-3) 中学校(中等教育学校の1～3年含む)
- 4.(Q8-4) 高校(中等教育学校の4～6年含む)
- 5.(Q8-5) 学習塾・予備校
- 6.(Q8-6) 専門学校
- 7.(Q8-7) 短大・大学・大学院

設問 9 (教育費用(4))

教育費用(3)でご回答いただいた中で一番負担の大きいのはどこですか?

- 1.(Q9-1) 幼稚園・保育園
- 2.(Q9-2) 小学校
- 3.(Q9-3) 中学校(中等教育学校の1~3年含む)
- 4.(Q9-4) 高校(中等教育学校の4~6年含む)
- 5.(Q9-5) 学習塾・予備校
- 6.(Q9-6) 専門学校
- 7.(Q9-7) 短大・大学・大学院

設問 10 (教育費用(5))

教育ローン・奨学金を利用していますか?

- 1.(Q10-1) 利用している
- 2.(Q10-2) 利用していない
- 3.(Q10-3) 必要になったら利用する

設問 11 (教育費用(6))

教育費用についてご意見があれば教えてください。

(4) 放課後学習について

設問 12 (放課後学習(1))

学校での補講についてご意見をお聞かせください。

- 1.(Q12-1) 充実している
- 2.(Q12-2) どちらとも言えない
- 3.(Q12-3) もっと充実してもらいたい
- 4.(Q12-4) わからない

設問 13 (放課後学習(2))

学習塾(予備校)の利用状況について教えてください。

- 1.(Q13-1) 利用している
- 2.(Q13-2) 必要になったら利用する
- 3.(Q13-3) 利用する予定はない
- 4.(Q13-4) 経済的に利用できない

設問 14 (放課後学習(3))

お子さんが自習されている場所を教えてください。(複数回答可)

- 1.(Q14-1) 家庭
- 2.(Q14-2) 学校(図書室等)
- 3.(Q14-3) 公共施設(公的な図書館等)
- 4.(Q14-4) 学習塾・予備校
- 5.(Q14-5) その他(商業施設等)
- 6.(Q14-6) 場所がない

設問 15 (放課後学習(4))

放課後学習についてご意見があれば教えてください。

- (5) その他

設問 16 (学校名について)

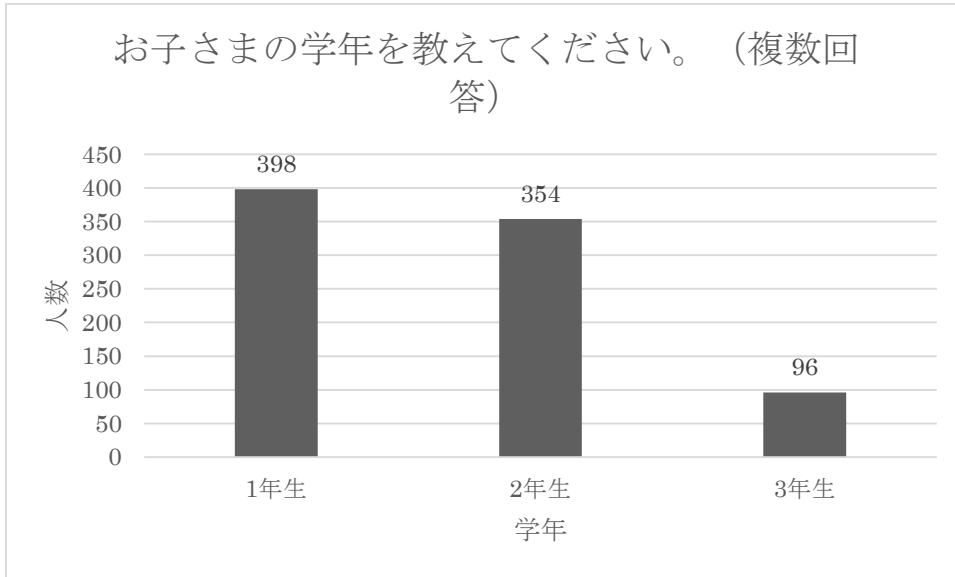
よろしければお子さまが通学中の学校名を教えてください。

2. アンケート回答

アンケート回答結果について集計し、グラフに纏めました。

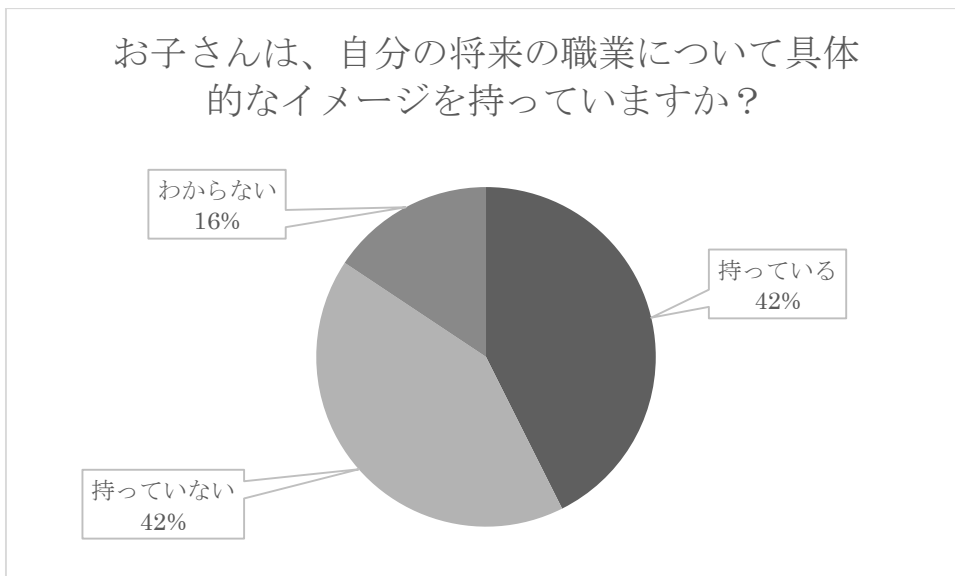
(1) 前提条件

設問 1 (お子さまについて)

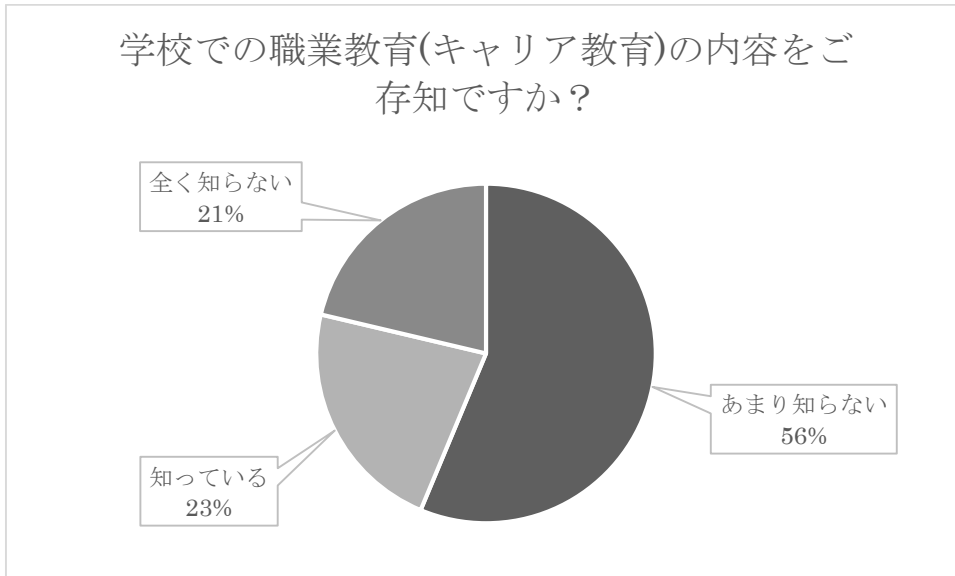


(2) キャリア教育について

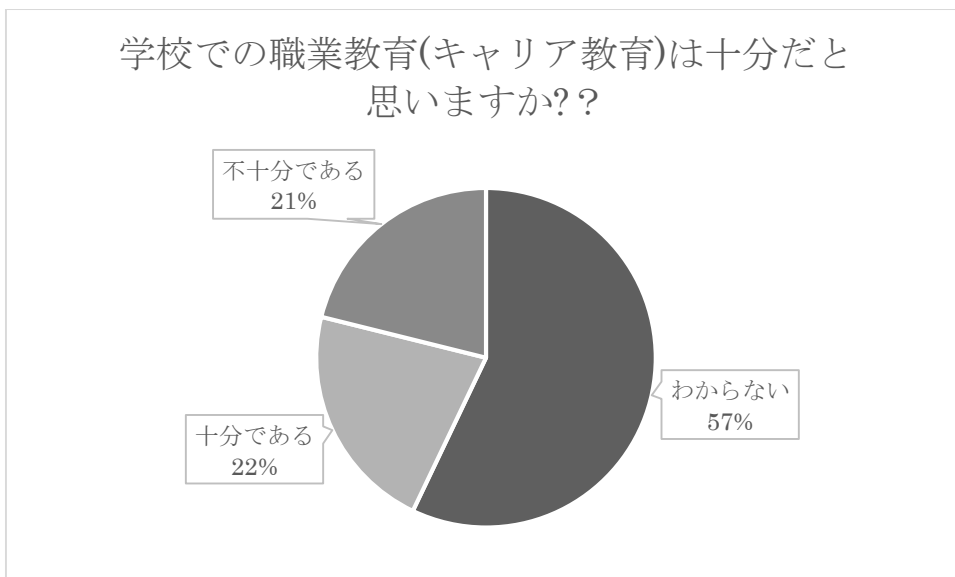
設問 2 (キャリア教育(1))



設問 3 (キャリア教育(2))



設問 4 (キャリア教育(3))



設問 5 (キャリア教育(4))

職業教育(キャリア教育)についてご意見があれば教えてください。

- ・大学に行く人は大学で進路を決める方が、現実的であるが、日本の大学がそこまで充実しているかは疑問である。高校から専門に行く人や高校から社会人になるのであれば、向いている職種と希望する職種のギャップを知る必要性があると考え。一つの職業でも奥が深いもの、幅の広いものがあるが、それをどれだけ理解してもらえるかも大切。
- ・学校はよくやっていると思うが、高校生でそこまでの意識が必要なのか疑問。
- ・進学的事で精一杯でまだ、自分のやりたい職業など全く見えてないのが現状です。高校時代に色々と詳しく知る事ができれば大学選びも選択肢が広がると思います。
- ・現在は小学校からキャリア教育がある程度進み、時間もさいているようだが、少なくとも中学時代までの教育ではあまり効果があがっていないように思える。学校間の格差もあるが、保護者側も意識が低い上経済的事情で進学先を決定せざるを得ない状況があり、高校進学時にキャリア教育を活かした進路先が選ばれていない事例が多いのではないかと。
- ・大卒後直ぐに就く職のことだけでなく、もっと長いスパンで職業人生のことを考えられればと。今ある仕事が数十年後には無かったり、今は無くても将来ビジネスになるものもあるので。
- ・様々な職業があり、それらは平等であることを教えるべき。
- ・学校に来てくださる大学や専門学校などほんの一部の学校のような気がします。生徒の意見など事前に聞いて選ぶようにするなどの工夫が必要ではないかと思えます
- ・子供の努力を物凄く認めてくれて、将来に対して具体的にアドバイスしてくれます。子供のやる気と才能を導き出してくれ、頑張った子供に、評価してくれます。
- ・小中学の間に職業体験や話を聞ける機会が増えるといいと思う
- ・なりたいと思う職業があっても、ある程度はその方法を示唆して開けたらと思います。一年の秋に理系・文系を選ばなくてはいけない子供たちにとって、自分に出来そうだと。やってみたいけど、大学選びにはもう間に合わない。等々、中学からやらなくては、子供も分かるとはとても思いません。それに、今の大人にも何を今したいかと聞かれても答えられる人はいないのではないのでしょうか。
- ・キャリア教育をとる前に、もっと工業高校、商業高校を大事にしてください。
- ・何のために、何を勉強したいか自分で良く考えて進学先を決めるということは、とても大事な作業だと思っています。ただ大学卒というレッテルを貼るだけでは、意味がないのではと考えています。

- ・教職ではない人に、授業を担当させたらいいのではないかと思う。
 - ・机上では理解が進まないので、実践的な教育が必要。
 - ・普通科においては 必要ないのでは ないかと思います。
 - ・仕事と日々の生活との関係があまり説明されてない。仕事、収入、生活との関係も、説明した上で、キャリア教育をしてほしい。
 - ・体験学習は希望する職場に行かれば勉強になるが、そうでない場合ただ行くだけで何も身にならない気がする。各分野の企業や専門学校の方々が進みたい分野と言うより具体的にこの職業に着くにはこういった勉強や道があるなどの説明がわかりやすい。
 - ・まだ、しっかり把握していない。
 - ・保護者にも資料を配布してほしい
 - ・父兄に様々な職業に就いている方がいるので、身近な方にも講義等お願いしてみてもどうでしょうか。色々な職業の就いてみて分かる良い面、辛い面や仕事の細かな内容、その職業ならではの経験やなぜその職業を志したかなど、分かりやすく教えてもらうのも、学びやすいと思います。
 - ・自らが職業人の話を聞きレポートにまとめる課題は良かったと思う。教員はもう少し幅広い職業知識を持ち、具体的なキャリアプランへのアドバイスができてほしい。
 - ・仕事のやりがいを感じ取ってほしい
 - ・職業体験をする機会があってもよいと思う。また、おとなと接する機会が少なく、視野が狭く、自分の将来像が思い描けない様子であるので、どんな形でもよいので親や先生以外のおとなとふれあえる機会があるといいと思う。
 - ・学校でキャリア教育にかなりの時間を割いていることは知っているが、その内容が十分なものかどうかはわからない。
- ありません。
- ・世の中には、いろんな職業や職種があることを、ぜひ教えてほしい。可能なら、実際にその職についている卒業生の話を聞いたり、質問できたりする機会があるといいと思う。
 - ・興味の対象でない子どももあると思うので、選択肢を広げた教育を求めます
 - ・どこの都立高校でもやっているのでしょうか？
 - ・内容を詳しく聞いていないので分からない
 - ・積極的に指導してほしい
 - ・もっと回数を増やしてほしい
 - ・内容がよくわかっていない為答えられない。
 - ・色々な仕事を知ったり、触れたりするのはとても大切だと思います。
 - ・学校でどのような職業教育がされているか保護者に伝わっていないと思います。

・いろんな職業の方にお話頂くのも大切な事ですが、それ以前に現代の職種多様化などを教えてほしい。

・子供から話を聞いていますが深く話し合っていないので詳しい事がわかりません

・普段の生活で触れることのない仕事について、知る機会を作っていただきたいです。

・大学進学希望なので語学力教育以外はあまり興味がない

・前提として大学進学しかないように思えるが、専門分野を鍛えるには専門学校もありだと思ふ。

・保護者への情報連携が少ない

・グローバルな視点(先進国・発展途上国問わず海外で働く)が足りないように感じます。

・短い時間でより多くの職業や進路を子供達に伝え、本人の意思を固めるのはとても難しいと思われまふ。多くの職に触れる機会を沢山作って頂けるとありがたいです。社会が多種多様な職業によって支えられているという事を知り、社会人になると大きく育つ様に思われまふ。

・学校でも色々な職業のことを学んではいますが、実際にはなしをきいたり、体験したりできるのは、こどもが興味のあるものと一致しないことが多いとかんじまふ。

・よくわからない。

・様々な職種の先輩たちから話を聞いたり、大学を訪問したりということは知っているが、具体的な内容についてはあまり知らないのが現状。

・やりがい ばかり強調 しないで ほしい。自分で働いて 食べていければ やりがいを感じなくても 立派。実力に比べて プライドが 大きいと つらい。

・様々な職業の先輩が来て話をしてくれたりしているが、うちの娘には、あまり効果がないように思われる、話だけでなく実習のような形が望まれる。

・分野を増やして欲しい

・知らない。やっていないと思ふ。

・現在の形式で十分です。

・おそらく、学校の先生方が職業体験の受け入れ先を探すので、体験できる企業も期間も限りがあり、生徒の体験したい企業とは大きなずれかあると思われる。息子の場合、わずか1日を3箇所程度行っただけで、仕事の面白さ、奥深さ?はほとんどわからなかったのではないかと思ふ。私も教員なので、先生方の負担は増やしたくないので、体験場所は学校で用意するのでなく別の機関が担うこと、期間も長期休み中の週単位で行うこと、生徒が本当に興味のある企業に行かれることができれば申し分ないと思ふ。

・職場体験や多業種の方々の講演などで、子供なりに将来を想像しやすかったようです。

・もっと、具体的に体験できる場があればよいと思ふ

- ・官公省(総務省や厚生省など)の方を読んで頂きたいです。
- ・職業に対してのイメージを具体的にさせることは、非常に有意義なことだと思います。個人的な考えですが、自分の親の仕事を見学、体験等してみるの、子どもにとって良いことだと思います。家で見る父親の姿とは全く異なる、働く父を見ることで父への尊敬の念が起るだろうし、こうして自分の家庭の収入が得られるのだと分かるから買い物する時の気持ちが変わると思います。こんなことも、キャリア教育に組み込んでみるのはいかがでしょうか。
- ・何か資料があればよく見て考えたい。
- ・高校での職業教育について具体的な要望はないが、大学進学対象者を含め全員には、を公的な場(自分が知らない相手がいる場所)での自己紹介や一般常識を校外学習(修学旅行や合宿、発表会など)でみにつけられればよい。就職に必要な専門的な教育は就職を希望していて、専門科目を選択した生徒に対して十分おこなっていただきたい。
- ・よくやってくれている。先輩や、現職の方の具体的なお話は、とてもためになっているようだ。
- ・一体何なのか全くわかりません。もっと親にも情報をもらいたい。
- ・内容は知らないが、子どもが社会人になった時の具体的なイメージ、仕事の内容がわかることは大切だと思います。
- ・色々な先生がコースの選び方などを教えて下さる事で情報が知れるので大切だと思います。
- ・なかなか将来何になるかこの時期に決めるのは難しいと思う。この時期はとにかくいろいろたくさん職業を知るということでもよいのでは。
- ・親・親戚か学校の先生か塾の大人しか知らないなかで、職業や仕事を知って視野が広がるので、それで十分キャリア教育と思います。
- ・「働くとは何か」「お金とのかかわり方(稼ぐ意味)」をもう少し基本的な点から(生活の為とか貯蓄の為とか言うステレオタイプな回答を着地点とせず)真剣に考えるきっかけを与えてやってほしい。この頃から職業を確定せずとも、様々な生き方があるという広い視野を見せてやってほしい。
- ・よくわからないので わかりやすいように 保護者側に通知してほしい。
- ・大人の私でも、知らない職業が沢山あります。広く、いろいろな職業がある事をなるべく早い段階で教えて欲しい。子供たちが目標を持てるように??
- ・保護者と一緒に受講したい。
- ・しつこいくらいに子ども達に様々な職業についている人たちの講話(座談会のようなものでも)をしてほしい。就職して2~3年目の人や15年目くらいの人の話なども聞かせたい

- ・職業体験はもう少し実践的なことが出来るといいので、各企業にいいところばかりではなく、職業の厳しさなども教えて貰った方がいい。
- ・夢が決まってる子にはよいと思いますが、夢のない子への教育をして欲しいと思います。
- ・良くわからないので、内容等わかりやすい説明がほしい
- ・一部の学科しか指導が無い
- ・どんな内容なのか知りたい。
- ・興味のある職業について体験をして欲しい
- ・やりたい職業が早くから見つかる可能性があるのは目標を立てやすく意味のある大学や専門学校への進学に繋がる
- ・もっと具体的に生徒たちの希望を聞いて職業とのマッチングが出来ればよいと思います。
- ・キャリアでいえば、幅広い職種を紹介してほしい。しかし、そもそもキャリア以前に、学ぶということの大切さと喜びを教えてほしい。
- ・目標を持っている子にとってはいい事だと思う。
- ・「授業内で情報提供する」「プリント等を作成させる」だけがキャリア教育ではないと思います。息子の通う学校では、文化祭や部活動がとてもさかんです。その中で、
 - ・多くの人と話し合い、意見の違いを乗り越える
 - ・現実の制約の中で工夫する
 - ・理屈通り進まないことや突発的なアクシデントに対応する等、社会に出たときに絶対必要となる力を育てて貰っていると感じています。その中で、講演・体験学習等のこともく努力していただいていると思います。全員が役立てられているわけではありませんが、教育とはそういうもので、今は興味がない生徒も、「なんかやってるな」という中から、そのうち興味を持つこともあると思います。
- ・世の中にある目立たないが大切な仕事について紹介したり、そのためにはどのような教育を受け学門をすることが必要なのか、いくつかの例をあげて、その道のプロの人に語ってもらうことがいいと思う。
- ・具体的な職業を決めるのは尚早に思います。かえって可能性を狭めるような気がします。
- ・実際にその職業に就いている方からお話をきくことは、有意義だと思う。サラマン家庭に育つと、他の職業についてイメージしにくいと思うので。
- ・将来が漠然とした物としてしかまだ無いようなので、色々な職業を具体的に提示して、様々な可能性を実感させて欲しいです。
- ・今年度はおやじの会で職業フォーラムがあり、子どもは興味深い話が聞けたようです。
- ・中学校のとき、職業体験があったのはとても良いと思いました。
- ・よくわかっていません。申し訳ないです。

・低年齢から生きる目標や目的が明確になるような環境や見つけようとする事、教育コーチングなど積極的に取り入れ前向きに自己肯定感を高める、母親からの呪縛からとくなどが多いに必要でしょう

・色々な職業の方々の話を聴く機会を設けてほしい。

・全く無知のため、既にされているのでしたら大変恐縮ですが、中学の職業体験がとてもよかったので、そのような機会があればよいと思います。

・どこの過疎地の学校なのかとってしまうくらい、体験先の候補が酷い。中学での内容とあまり変わらず、実施する意図が分からない。

・今の都 P には言いたくない

・多方面の職種の方々の話を聴ける機会をもっと増やして欲しい。

・具体的にどんな教育なのか親に伝える努力をお願いします

・もっと幅広い職種の方々と接する機会を増やして欲しい。

・様々な職種で実際に働いている人から話を聞いたり、体験できたりする機会が多くあると良いと思います。

・働く基本姿勢や厳しさをきちっと伝えてほしい。単なる体験は、だめ。

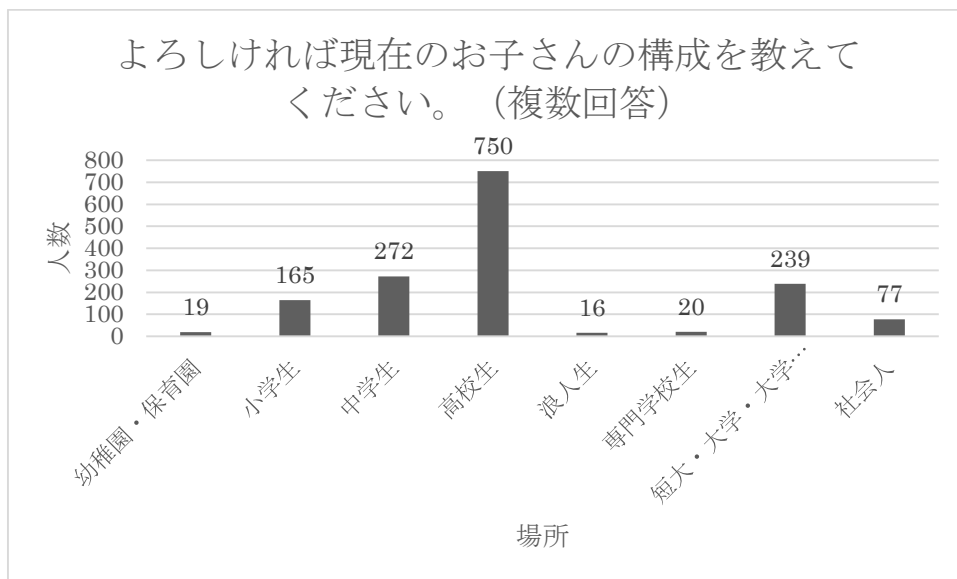
・高校にキャリア教育は必要ない。教科学習のみに注力すべき

・参考になっているようです。

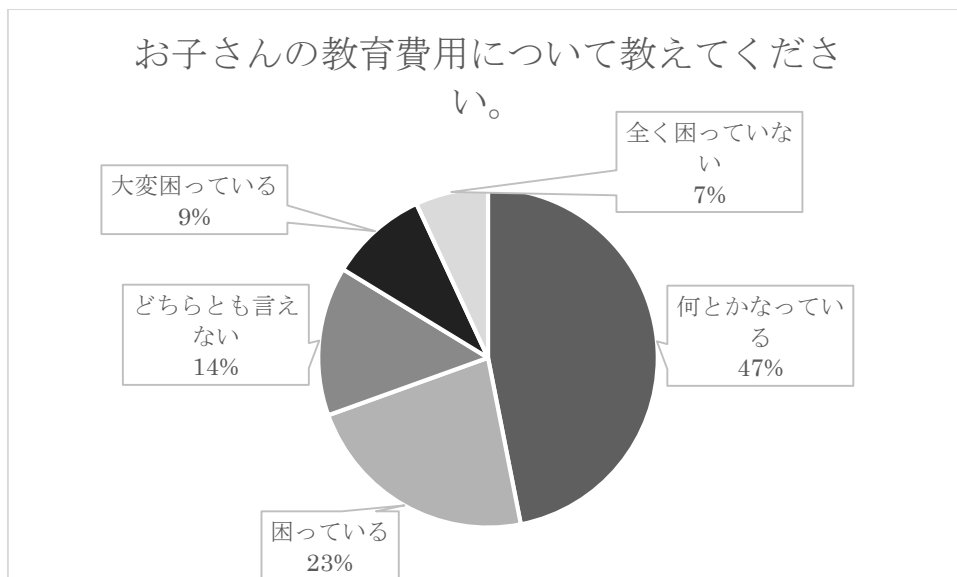
・OB・OGに限らず、広く社会の職業や事業について、その内容や意義、過去の学問や学生経験、社会人経験で有効に働いたことなどを子どもたちに知らせる機会を多数設けてほしい。

(3) 教育費用について

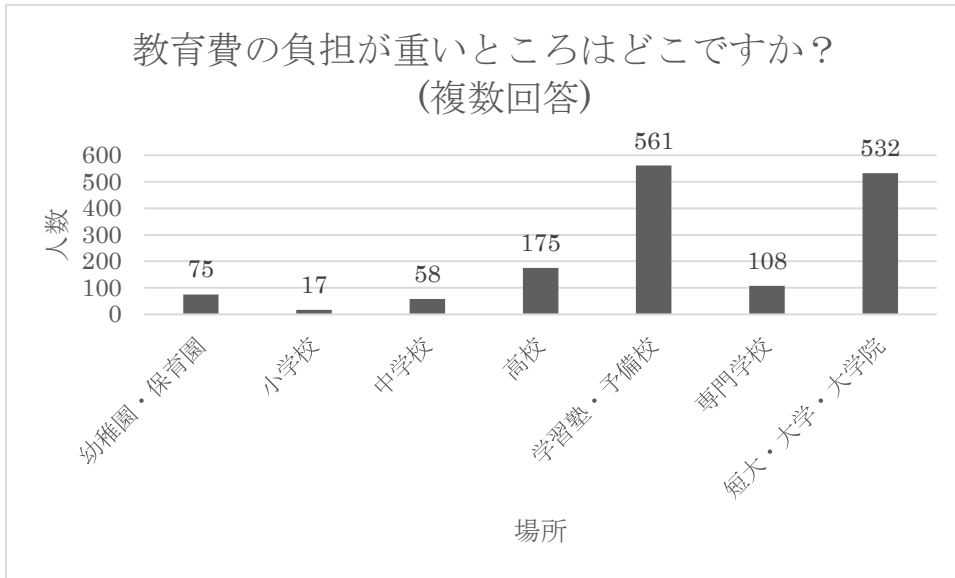
設問 6 (教育費用(1))



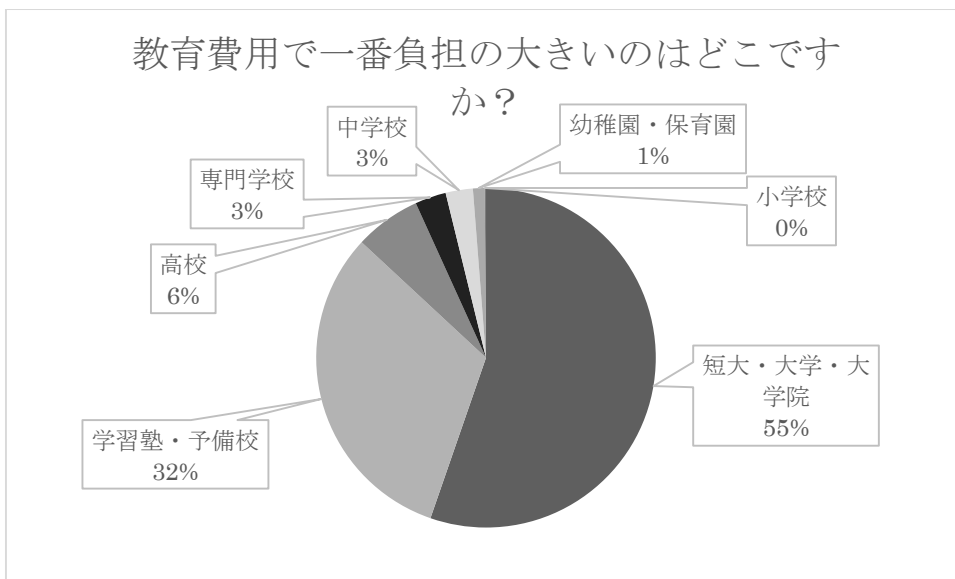
設問 7 (教育費用(2))



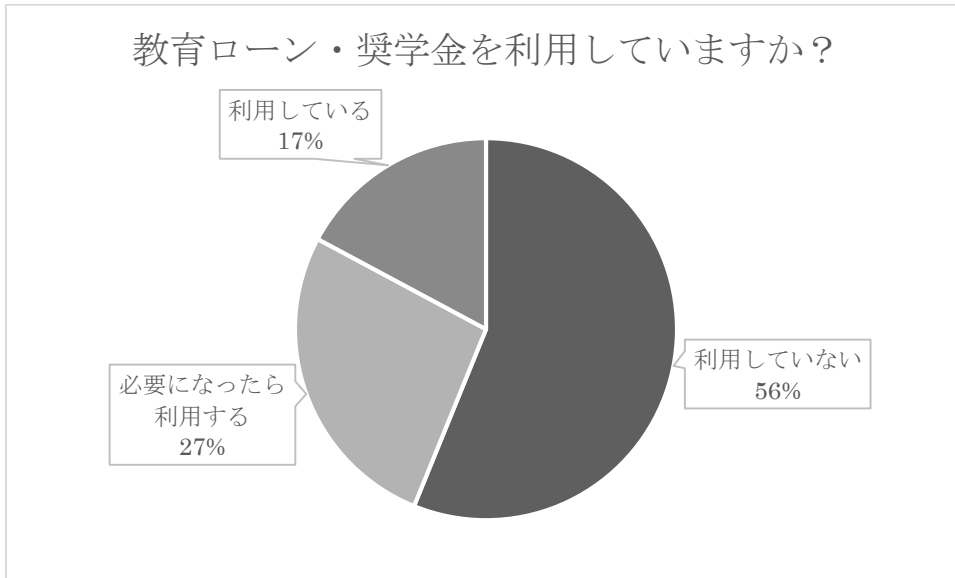
設問 8 (教育費用(3))



設問 9 (教育費用(4))



設問 10 (教育費用(5))



設問 11 (教育費用(6))

教育費用についてご意見があれば教えてください。

- ・給付型の奨学金を拡充して欲しい。奨学金を借りても返すのに苦労している話をよく聞きます。日本の未来の為にも、子供たちに教育を受ける機会を平等に与えて欲しい。
- ・授業料が無料であったので、制服等の入学時に必要なものと3年間の付帯費用だけであったので結果的に楽だった感はします。専門、大学に進学するのに奨学金があるが、支援機構の奨学金制度のあり方に疑問を感じる。
- ・大学の親の負担が多すぎる
- ・公立大学の学費が高すぎる。私立と授業料が変わらない状態では、能力があつて所得の少ない人のチャンスが減ってしまう。
- ・高いと思う。2歳違いの子供がいますので2年間は大学時代がかぶります。授業料の負担がぞっとします。
- ・子供が3人いると、自然と私立は避けがちに。
- ・できれば、高校までは義務教育にして、大学は半額ぐらいにしてほしい。子供がたくさんいると、学費だけで破産してしまう。上にお金がかかり、下の子が犠牲になる可能性がある。
- ・充実した高校生活を送らせる為には、思った以上に学費以外の部分でも費用がかかる。また、都立と私立の金額格差が激しいのもいかなものか。この格差があるがため、保護者の方にも都立だから多少ぬるくても仕方ない…と諦めがちになる傾向、逆に私立だからこれくらいはやってくれないと…という傾向がある。実際には費用の出处がことなるだけで一人当たりの生徒にかかっている費用はあまり変わらないと聞きます。
- ・日本の教育費が高過ぎるのは国の問題だと思う。
- ・やはり経済状態のよい家庭のほうがよりよいと言っていいのか潤沢な教育費用をかけることができるため環境に格差があると思う。
- ・高校まで公立でしたが、実際には外部での塾等のお金が結構かかりました。せっかく通っている学校の方でもう少し勉強をみてもらえれば有り難いと思います。
- ・府中市の給付奨学金を、頂いております。都立高校に入学出来て、ほぼ無料で教育を受けさせて頂いており、恐縮しております。本当に・都立高校に、感謝しております。私立高校に通う事になったら、一家心中か浮浪者か生活費全て学費に充てて、飲まず食わずだったかと想像したら、ゾッとしました。都立高校がもっと増えてくれたら良いなあーと、つくづく感じました。
- ・私立の学費をもう少し安くしてほしい。

- ・私立大学の学費が高すぎる。金額にみあった教育を受けているとは思えない。
- ・大学で一番学費がかかるので奨学金だけでなく高校のように補助金など収入によって考慮されるとよい
- ・本人にやる気もあり、親も頑張っているのに、塾の費用や、大学の受験料と入学金の高さには、途方にくれてしまう。お金のせいで何かを諦めさせることは絶対にしたくないが、目処が立たず、本当に困ってしまう。
- ・給付型奨学金制度や減免制度の拡充をしていただきたい。
- ・塾で塾生を利用するシステムがあり、高度な機種を準備する必要があるので、サポートしてほしい
- ・とにかく大学の授業料が高すぎます。
- ・余裕がなく塾などに行かせず大学受験させました。いくつか受験し、本人の努力もあり合格できましたが、第一志望は不合格でした。塾に行くのが当たり前になっていますが、学校教育で足りないのか?そうなるとお金のない家の子はいつまでも這い上がれない。そんな状況は改善されてほしい。
- ・子供には悪いと思いますが、借りてもらわないと、大学進学は無理です。
- ・高校は授業料無償になるのに、一番お金が掛かる大学にはないのですか?
- ・費用がかかりすぎる。年寄りにかけるお金があるなら、給付の奨学金にするなり授業料の補助にするなりして欲しい。少子化の原因は保育園の不足ではなく、教育にお金がかかりすぎることです。
- ・子供が4人いて、全員、大学進学あるいは、大学進学を目指しています。塾を利用せずに志望大学に入れれば良いが、厳しい現実もあります。お金がある家の人ほど高レベルの教育を受けられるという現実も事実なので、理不尽に思っています。
- ・返済なしの奨学金を充実させてほしい。
- ・奨学金に頼らなければ大学に行かせるれないこと就職も決まらないうちから奨学金のローンがあること親として辛いです!
- ・大学の教育費は高すぎると思います
- ・都立高であっても、教材費、制服など高額すぎる。学力差も経済力の差となり、格差社会を痛感させられる。
- ・大学の合格のたびに納金するようになってるが、時間もかかるし、多額になるため、システム改善を望む
- ・貧困格差の解消のために、寄付による奨学金が充実すると良い(償還が不要なもの)

・上の子は、都立高校に入り、塾に通っている。大学は一般受験の予定で、受験時に多額の準備金が必要だと心得ている。真ん中の子は、私立高校で通塾はせず、推薦で大学受験をする方向で考えている。我が家の試算では、後者の方が若干安く上がる計算だが、何れにせよ、大きな教育費がかかるのは必至である。

・高すぎる。だから少子化を生むんだと思う。

・大学の授業料について 非常に心配している。

・返済不要の奨学金を増やし、学費に関係なく学べる環境を整えてほしい。お金で夢や、将来の日本に有益な人材を潰すことがないようにしてほしい。

・教育費以外に見えないお金もけっこう必要です。部活の費用や、子供の交際費など。

・大学進学に当たり捨てるお金がでるのが負担です。何とか行く大学だけ払えばいいようにはできないか？

・分割等の機能を尽くして、子供の進学に影響のないようにしてほしい。

・少子化対策等をふまえて、例えば所得控除の対象となるよう政府に検討してほしい。

・高校も義務教育にしてほしい

・収入以上の費用をかけなければ教育が受けられない。皆当たり前のように教育ローンや奨学金を借りている。でも、収入の大半を返済に充てて、家や車のローンも背負い、生活に支障が出ている人も多いと聞く。国で若者を育てるための予算を組んでもいいのではないかと思います。

・もう少し援助があると助かる

・休みばかりなのに大学の授業料が高すぎる。

・高過ぎます！

・いまの高校卒は、昔の中学卒とほぼ同じなので、高校までは、無料にしてほしい。

・中学生、高校生ともに公立に通っているのですが、授業料は問題ないが、入学時の制服等、修学旅行等などの費用が大きい。教育ローン、奨学金なども、将来の返済を考えると、躊躇します。生活困窮家庭には、制服等の無償化、修学旅行の負担減も考え、高校に行きたい子は行けるようにしてほしい。

・大学の入学金、授業料が高すぎます。加えて返済義務のない奨学金制度が事実上皆無です。日本学生支援機構などから高額な借金を背負う学生も少ないとききます。教育機会を均等に与えるために、また将来の人材確保のためにも国策として学費を下げることを考えてほしい。

・高校以上になると義務教育ではなくなるので難しいとは思いますが、児童手当のようなものがあると助かる。奨学金を利用して卒業後就職が決まらないなどで返済が厳しいなどの現実もある。

- ・特殊職種に対する、国のサポートをもっと充実してほしい。例えば、パイロット養成コースお金が、かかり過ぎで、本人が本気でも時間も、費用もなれる人が限られてしまう。
- ・高校を無料にしてほしい。
- ・奨学金、教育ローンの種類や利便性とリスクを分かりやすく説明してほしい。また、皆さんがどのように利用しているのか、体験も聴かせて欲しい。
- ・高校の学費は収入が高い家庭のみが支払っているが、収入があっても子どもの数が多ければ支出は多いわけで、不公平に感じる。一律無償かあるいは公平に学費を徴収すべきだと思う。
- ・塾は、通常の授業だけでなく、長期休みの講習も受けなければならないのが負担。高校生になったら金額が大きい上に、本人は部活動で空き時間がほとんどないため、講習を免除してもらったこともある。上の子は公立の高専だったため、授業料は安く、予備校費も必要なく済んだ。現在高校生の子は医療系の大学志望なので費用がかかると思う。今から不安を感じる。部活動費がかかるのも負担が大きい。ユニフォームやバッグ、遠征の交通費など。
- ・勉強する子は無料にして欲しい。誰でも卒業出来る学校では無く、勉強した子だけが卒業資格を貰え授業料も国で負担してほしい。
- ・国公立大学の学費は他の先進国(特にヨーロッパ)のように、もっと安くしてほしい。
- ・返済の猶予や返済の義務のない優待の奨学金をもっと増やせる方法を考えほしい。
- ・中学生の時、学習塾にお金をかけて高校に行かせ、高校になっても大学受験のために塾に行かせ、私立大学に行けば物凄くお金がかかる。私立高校、私立大学に行かせるともっとかかる。子供の教育にお金がかかりすぎる。高すぎる？
- ・都立高校でも学習材料他の費用負担が大きく家計を圧迫する。
- ・日本の教育費は高すぎると思う。国際競争力ある人材育成に障害となっていると思う。
- ・これから日本は人口現象で子供一人一人の能力が重要なのでからもっと国からの援助が欲しいと思う。そういったサポートの為に税金を払っても納得が行くと思う。日本の大学はとにかく費用が高すぎる。能力があるのにあきらめる人を逃さない為にも国からのサポートは必須だと思う。
- ・高いですね
- ・大学の費用が受験料も含めて高すぎる
- ・兄弟が三つ年齢が離れていて、高校と大学受験時期が重なりました。奨学金を利用しますが、審査が年末頃と遅く、2人分の受験費用、入学費用を工面するのがとても大変です。また公立と私立の料金の差がとても多くとても負担です。少子化対策のためにも教育費用を下げてもらいたいです。

- ・お金がかかりすぎる。結局、お金がある家のこは高くても良い塾にいけるので、進学校に行けるが、お金の無い家庭の子は良い塾にも学校にも行けない。その時点で格差社会が代々続いてしまう。都立も偏差値が高い学校は施設も教員も良いが、普通の高校は、適当な先生しかいない。全てお金で決まる嫌なシステムだ。
- ・本人が希望すれば、保護者の経済レベルにかかわらず、高校卒業後も、大学等に進学し学べるような支援策を充実してほしい。
- ・こんなに教育にお金がかかるのは未来を背負う世代にとって、良いことなのか？ 奨学金を大半の学生が貸与されている現在では、10代の終わりですでに債務者で、その状況は異常にも思える。借金しないと学べない世の中はいかなるものか？これだけとはいえないが、この事も少子化問題を解決する道を閉ざしている要因の一つに思える。
- ・児童手当のような補助金が、大学、専門学校卒業までであると助かる。
- ・金利をもっともっと下げてほしい
- ・子供が多いと、生活費、教育費など当然たいへんなのにそれに対する対策がないのが残念。大学も、授業料免除も成績より母子家庭などが優先され、結局奨学金制度では十分ではないので子供にバイトなどをするようになり成績が維持できない。子供の借金が增える、負担も増える。でも、親の収入では、子供が多いので十分ではない。
- ・無利子のローンの枠、条件を緩和してほしい
- ・とにかく高い、子供に教育を受けさせるのに公的費用が乏しい。
- ・奨学金の制度を考えてほしい。現状ではダメ。
- ・もっと安くなるといいなと思う。家庭の所得制限と関係なく、本人が将来返せばよい奨学金(無利子)があるといい。
- ・やはりこれから大学受験へ向けて塾や教材費と予備校代などかかることを思うと心配になります。
- ・未来ある子供の教育費がもう少し安くなればいいと思う
- ・大学の奨学金で貸与ではない方法がよくわからない。
- ・高校から大学卒業までの費用が非常に負担が大きい。教育ローン、奨学金を利用することになるが、返済出来るか不安。やむを得ず私立に進学している世帯には減税などしてほしい。
- ・可能性を摘んでしまわないように、教育については費用がかからない世の中になればいいとおもう。
- ・所得制限をしないでいただきたい。所得によって支払いの段階があるのもおかしい。高額な納税を求められる上になんのメリットも受けられず、それにより様々な支払いが重く、必死に働いても低所得者と同じかそれ以下の生活になっている。
- ・高校生の授業料免除の基準を緩めて貰いたい。

- ・家庭の事情で大学まで進学出来ない状況と言うことがない様になればいいと思う。
- ・できれば、大学までの無償化が望ましい。
- ・大学の費用も全員に助成金や免除、ローンの金利 0%などの処置があれば、もっと沢山の
子供達が大学へ進学が楽になりますね。我が家の数年後が末恐ろしい感じでいっぱいです。
- ・はっきり申しますと、お金をかけて学習しなければならない環境は、おかしいと思います。
お金のある家庭と、そうでない家庭の子供に格差が生じているのは、困ります。
- ・小学生のプールは、学校では教えてくれないので、習う。から始まり、勉強は、中学校から
塾通い、高校は、大学行へ行くのに先輩は河合塾に通っていたんだって。と学校できいて
きて、いったいいくらかければよいのか?学校は何をしに行っているのか?お金がかかりすぎ
だと思えます。
- ・大学が一番かかる気がする。小さいころは手当はいらないので高校、大学時に国から手当
がほしい。
- ・給付型奨学金でないものは、返済が難しくなることがあることをよく説明した方がいいよ
うです。
- ・利子が高すぎて借りられない
- ・大学まで無償にしてほしい
- ・個人事業主だが高校の学費の支払いが後期一括で来るのはつらい。今回も最終的に分割に
してもらったが最初からその手続きができるといい。
- ・塾に行かないと受験を乗りきれないような学校教育では困る。学校に任せても大丈夫なよ
うにしっかりした指導をしてほしい。塾代を出すと大学の費用が負担できなくなる。
- ・親の年収によって、子供の教育にかけられる金額が決まってしまう、年収の低い家庭は子
供に進学を諦めてもらわなくてはならないことが現実にあります。どの子も平等に教育が
受けられるようにするべきだと思う。実際、私立には所得の多い家庭の子しか行けないのが
現実です。
- ・経済格差が一番出るところ。子ども自身も成長するに従って格差と残酷さを知り少子化の
一因となる。
- ・奨学金制度について説明を受ける事が出来る機会を教えて欲しい。大学で本当に必要な金
額を知りたい(入学金・学費だけでなく全て)。
- ・高校生が2名以上の場合、給付金の年収上限を上げてほしい。
- ・大学の学費が高い。費用に見合った教育内容なのか わからない。塾は 授業の他 講習
等を 必要以上強制され 高くなる。
- ・塾は高い
- ・私大の大学受験料を安くして欲しい。大学教育費が高い。

- ・年齢が大きくなる程、教育費がかかるのに、児童手当では小さい子なので、本当に困る。
- ・我が家はなんとかやりくりしているが、厳しい家庭もあると思うので、教材費も無償化になると助かるのではないかと思う。
- ・奨学金が借りられたのはいいが、融資開始が入学数ヶ月後なのは、どうかと思った。あと卒業後は子供自身が返済していくのに、審査時、親の収入を見られ、無利子で借りられないのは、おかしい制度だと思いました。
- ・大学入試は複数受験するので、受験費用がかかると聞いた。合格してからも納入金額が高いと聞いている。
- ・これからが、更にかかるのでは?と、不安
- ・高すぎる。本当に能力のある子供ではなく、教育を受けられる金持ちの子供しか育てられない世の中。
- ・塾が必要ないくらいに学校が勉強面、進路指導等してくれたら良いのにとと思います。
- ・格差が大きい
- ・国は義務教育まで少しの援助があるけど高校以降の方がお金は必要。教育を受けさせないと負のスパイラルになってしまう。塾に行かないでも済む位の補講をして頂けたらと思う。
- ・大学はお金がかかると聞いていましたが、受験時の塾代から入学時にも、入学金、授業料の他に色々と出費があり、驚くばかりです。
- ・大学受験の際、受験料がかかりすぎる。同じ学校を複数回、受ける際もう少し考慮してほしい。
- ・子どもが四人おりますが、どの子も塾や習い事をさせるのは普通のサラリーマンには本当に大変なことです。自分の知る限り、親の収入による教育格差は子どもに大きな影響を与えるのは間違いないです。この現象は日本にとって大きな損失だと思います。国レベルでの対策が必要と考えます。
- ・塾は、講師がたいした指導力がないのに費用が高額なところが多い
- ・教育費が世帯年収金額並にかかる理由が理解できない。
- ・都立高校については、収入に応じてというシステムは良いと思います。私立高校に関しては授業料以外にも負担が大きいです。
- ・全入時代というか私立大学の学費や施設費があまりにも高すぎる。家は2人だがそれでも現実問題厳しいか、子供の人数が多いお宅は大変だと思う。

・小、中学校は義務教育なのに費用がかかりすぎる。部活は練習着やユニホーム代が高い。練習は体操着にしてほしい。3年間も着ないユニホームを個々に購入するのはおかしい。校外学習などの交通費や修学旅行の費用が高い。学校の授業についていけないと塾に行かざるおえないのはおかしい。学校で基本をしっかりと教えてほしい。何の為の義務教育なのか疑問に思う。高校進学はほとんどの生徒が希望するのだから義務教育にしてほしい。高校、大学に進学するには塾に行かせなければならず、塾代が大変。共働きでフルに働いても貯金ができない。女性も社会に出て・・・と言うが、フルで働きながら家事や学校行事の参加、子供の教育をするのがどれほど大変か。母親(父親)は家庭で家事をしながらゆっくり子供と向き合って過ごせる選択肢も取り入れてほしい。毎日仕事、家事、教育に追われながら生活していると心の余裕がなくなり子供の対応が冷たくなってしまう。教育費を国はもっと負担すべきだと思う。

・塾、大学等一人に対する負担が大きすぎる。高校の授業料負担も年収で決まり、不公平感があります。

・公立高校の就学奨励金の保護者所得の上限を撤廃して欲しい。教育にかかる費用は、みな同じだと思います。

・これから消費税も 10%になる。今の時代 大学に入学しない子どもなんてひとにぎり児童手当も 小さい子どもに出すのではなく この時期にほしい(塾には奨学金のようなものがないので 塾代に充てられ助かる)

・一人当たりの大学の学費が高すぎ 中流家庭では負担が大きすぎる。これでは教育金破産しそうだ。国に税金を払っているのだから国の将来を担う子供の教育を全ての子供たちが受けられるように 制度を充実させてほしい

・もっと、進学しやすいように免除や補助の制度があると良い。お金持ちだけが、十分な教育を受けられるというのはおかしい。受験年の、補助があっても、皆さん塾に一年生から通っている。

・奨学金を利用しても金額が高く、子供の今後の支払いに負担が大きい?子供が家族をもつようになった時なぜ高校から大学と教育費用が極端に高くなるのか?これでは勉強したい者が費用に困り上を望めないのでは?

・3人子供がいるて、きょうだいの年齢差がないため、高校生からの教育資金が足りず、奨学金制度を利用しても利子があるものになってしまい、とてもゆきずまっている。年収が中間より少し上(5?790)だが、この枠はとても厳しいとおもう。きょうだいのかずと、年齢差をみて、奨学金制度を考えてほしい!

・もっと負担のない教育費で子供を育てられるようにしてほしい。公立高校に通っていれば普通に大学へ受験できるように。

- ・大学の学費は高い。国がもっと対策してほしい。子ども 3 人の学費は大学だけで 1,000 万ぐらいになる。
- ・将来大学、専門学校にかかる負担が大きい子供は奨学金を借りてまで大学に行きたくないという。
- ・貧乏人は高い教育を受けることができず、貧乏から抜け出せない、教育資金を借りたいけれど返す当てがないから借りることが出来ない。母子家庭には本当にきつい。
- ・給料修得により都立高校授業料負担を、無くしてほしい。大学に、料金かかる直前、負担が大変なので、貯蓄したいので、やめてほしい
- 。子供の教育に、負担を増やさないでほしい
- ・大学給付型奨学金を導入してほしい
- ・奨学金を利息なしでたくさんの人に買ってほしいです。
- ・せめて、高校卒業まで、無料化にしてほしい
- ・収入に関係なく、みんなが同じ補助が受けられると助かる
- ・教育ローン及び奨学金等の返済についての不安が大きいです。
- ・大学・大学院進学を希望しているので、そのための貯蓄が負担です。高校はもちろん公立ですが、大学・大学院も国公立でなければ無理です。それでも、奨学金なしでは通わせることができないかもしれません。もうすこし、学費が安ければと思います。
- ・子育て支援は、高校大学で厚くして欲しい。経済格差が学力格差にならない仕組みを作って欲しい。
- ・大学進学が希望ですが、あまりにも学費が高く、頭が重いです。児童手当のようなものがあれば本当に助かるのですが・・・
- ・例えば、前期、後期と 2 回に分けて授業料を支払わなければならないのでボーナス等が無い家庭にとっては負担が大きい。もう少し細かく分割納付が出来たら助かる。
- ・お金がたくさんないと、塾にも早くから行かせてあげられない、教育も受けられない…基本的に間違っていると思います!
- ・高校、大学は無償化すべき。
- ・公立の学校は消費税で賄い、無料にすべき。
- ・3/18 のニュースでなんらかの被害にあった方のお子様の教育費を今後給付型に変更とされていたが一律に給付では不公平な気がする。これからの世代を担う人たちが担う、もう少し手厚くするべきだも思う
- ・塾など学校以外での教育をうけないと上位校への進学が難しい東京都の教育システムはおかしいと思う。

- ・国・地方自治体の予算配分は、子どもに対して少なすぎます。教育費用を家庭に任せることは、貧困の再生産や少子化に直結しています。改めていただきたいと思います。
- ・学習塾へ通うことをしなくてもいい環境を学校でも準備してほしい。
- ・塾に行かないと受験に対応できない学校教育に疑問を抱いています。公立中学は塾を進めていますし、高校もある一定以上の進学校でないと対応できない現実があります。上位校に比べて数学等の進度が遅く受験に対する不安を抱いています。
- ・大学に入るまでに、学習塾や入試で費用がかかり、大学に合格出来たころには資金が足りなくなるくらいお金がかかるのは如何なものか。収入格差で、教育が受けられる受けられないが決まってしまう為、教育費用はもう少し下がった方がいい。
- ・収入が少しでもオーバーになると色々な制度が打ち切られる。同じ子供なのに収入に応じて差別されているような気がする。
- ・教育費用はもっと安くするべき
- ・学費の補助が出てるのでかなり助かっているが、先日渡された、教科書の費用がびっくりする程で、しかも、急に用意をしなければならない。もう一人、兄弟が私立の高校に行っているので、塾にも行かせられず、大学進学にも影響すると思うと、子どもに申し訳ないと思ってしまう
- ・今年度「受験サプリ」を全員購入しましたが、学校からの指導はなく、自宅学習にお任せの状態でした。学校で全員購入するものは、授業や指導にどうしても必要なものにかぎるべきです。
- ・子供の教育にお金がかかりすぎる。家計に占める割合が大きすぎる。、大学生2人が2年間重なる時期がとても不安。
- ・保育園の利用料が収入に応じて変動するのは、福祉施設である以上やむを得ないのと思うが、金額設定の幅が大きすぎる。頑張っても妻の収入の殆どが保育園利用料に消えてしまうのであれば、働く女性は増えない。
- ・公的支援が必要。子どもの教育費の負担が大きいことが少子化に大きく影響していると感じる
- ・高校卒業後進学する子供が多いと思われるが、親の収入に対する教育費の割合はかなりのウェイトを占めている。この先が一番大変な時期である。
- ・私立大の学費が高すぎる。特に理数系は、4年大学で600万。年収を、軽く越えてしまう。
- ・少しでも早く、奨学金を給付型にして欲しいと思います。
- ・国立大学でも高い。
- ・公立の学校なのに学費がかかる事に理解出来ない。

- ・大学は年間半分しか授業がないのに、どうしてこうも学費が高いのか分からない。
- ・奨学金の制度を無利子や返済なしなどもっと変えてほしい。学費が高すぎる。
- ・進学するとともに出費が増えるのはわかっている事なので、小さい内からコツコツと貯める事が一番だと思う。
- ・高校の授業料は、所得にかかわらず、全員無償にしてほしい。
- ・将来的に大学、短大が必要なのか?借金までして行く価値があるのか?
- ・公立高校の教科書も無料配布して頂けると非常に助かります。低所得家庭の子どもも大学に通いやすくして頂く為に、大学の学費を下げて頂きたい。給付型奨学金をより多くの人が貰えるように増やして欲しい。
- ・日本は教育費が高い。少子化対策なら、教育費を安くする事も国はもっと力を入れるべき。
- ・先進国では、日本くらいが大学の授業料がかかっていると聞く。何故?と疑問に思う。授業料だけじゃ大学には通わせられない。教科書・交通費・一人暮らしをするなら生活費だってかかる。勉強させてあげたくても、親の費用負担ができなければ諦めてもらうしかない。高校の進路説明会でも「親はお金の用意をして下さい」とまず言われる。お金が無きゃ始まることさえできない。格差社会は、どんどんその差を広げるばかり。お金が無くても、本当に意欲があるなら、勉強がさせてあげられる環境を作って欲しい。
- ・奨学金を両親が返すなどして、本人が35歳過ぎまで借金に追われないようにしたらいい。結婚も出来ずフリーター引きこもりなど、高学歴でも人生が豊かになっていない。
- ・ローンなど審査が厳しく、実際利用できずに困る。
- ・諸外国に比べて大学の学費が高いと言われているが、国の政策でどうにかならないものか
- ・やはり塾というものが高いと思います。あと、親の貧困が子につながると言いますが、教育に関してはこれは絶対あつてはならないことだと思います。このような記事を目にする度に心が痛みます。
- ・塾の費用が高いことが家計を圧迫しています。学校に通っているのに、中学校からですが塾で習っている事を前提に授業が進められると、子供が言うておりました。区立中から都立高校ですが、塾に通っているお子さんがほとんどだという現状なので、学校の授業の意味が無いように思います。
- ・少なくとも高校までは、教材費や給食費なども含め家庭へかかる負担を全て公費で賄うべき。制服代などもあり、公立高校であっても家計には大きな負担。
- ・大学の学費がとにかく負担です。二人同時に通学となる時期は家庭収入の半分ほどになる予定です。今から不安です。
- ・教育費用の負担が大きく、塾の利用や進学に影響が出ている。

・奨学金は返済不要、あるいは無利子にしなければ、いくら高等教育を受けて、負の連鎖をなくすと言っても机上の空論。社会に出る第一歩から多額の借金を背負ってのスタートになってしまっている。

・大学や塾の費用は高く、子供が多いと大変。乳幼児期の支援ばかりではなく、高校や大学のほうが金銭的な支援があるとよい。(一律ではなく子供の人数に応じて)

・高校で、十分な教育をしないから塾に通わざるを得ない。

・公立高校の授業料無料化が終了し所得制限になりましたが、ギリギリのラインで有料になった家庭には負担が多いと感じています。特に自営業などは上手く調整している方もいると聞き、不愉快になってしまいました。もっと、皆が納得のいく方法にして欲しいです。

・もっと安くして、学びたい人が学べる環境を作るべき。

・国は幼少期に手厚い補助をしている。例えばジドウ手当、保育費の補助など。しかし、実際にお金が必要になるのは10代からだと感じる。現実には子供成長と比例して給料は上がらない。今後、大学に入るための塾代が家計を圧迫しそう。高校以降にこそ手厚い補助を望みます。

・授業料や教科書代はお金がかかっても仕方ないと思うのだが、部活での出費にもう少し補助があれば、もっと幅広く学校も活動させられるのでは…

・大学まで無償化してほしい

・少子高齢化の時代に、きちんと仕事をして所得を得る若者を育てるために、大学まで出してやりたい、夢を持たせてやりたいと思いますが、日本には給付型奨学金もほとんど無く、非常に辛いです。複数、子供を持つことに抵抗を持ちたくなるような世の中だと思います。国はもっと子供や若者を育てることに真剣に目を向けるべきです。事実、私も子育ての苦労は幼少期より大学進学の方が一番つらいです。

・受験は塾ありきになっていておかしい。学校の先生の授業がもっとしっかりやってほしい。

・母子なので大変です!

・私立大学の学費が高すぎるので、もっと、奨学金制度を改善して貰いたい。

・大学受験料、入学金、授業料など高額です。大学費用の無償化を望みます。

・公立高校の授業料の無料化実施を再度希望します。

・大学の費用が高すぎる。

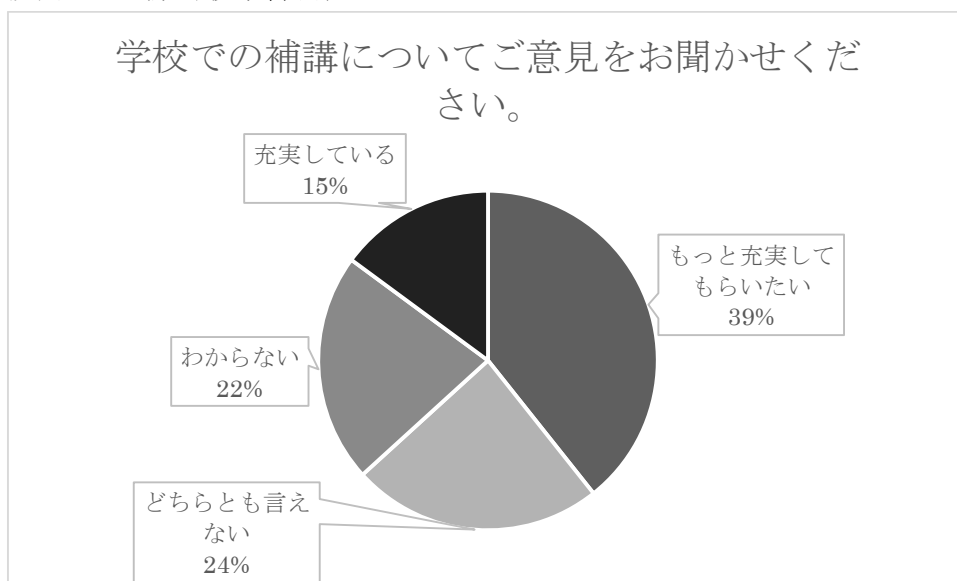
・私立理系の大学は学費が高いので子供の年齢に近い家庭で同時に通学となるとかなりの負担だと思います。

・授業料より部活にお金がかかる

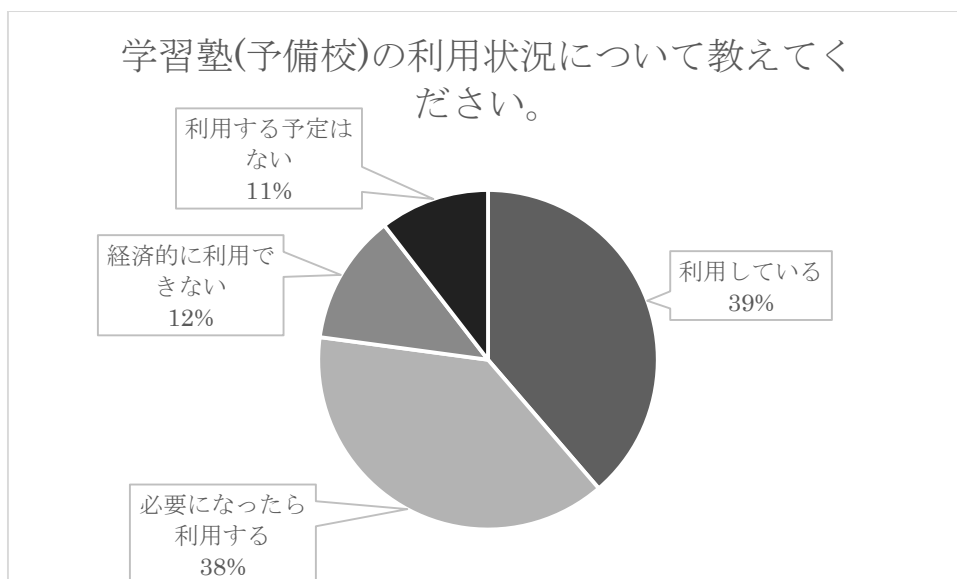
- ・もう少し安いとありがたい
- ・大学私立国立格差をなくす。
- ・大学の授業料が高過ぎます。せめて月 3 万円程度で収まるように制度を設計して貰いたい。教育格差を生むことのないような社会にしてほしい。
- ・日本は子供を育てるのにお金がかかりすぎる。大人として子供を育てるために費用を用意するのは当然かと思いますが、せめて、高校生までは費用がかからなくしてほしい。伸びる子供までがお金のせいで潰されてしまう。
- ・高校の授業料の支援金の対象から外れているので授業料を負担していますが、4月から負担が2名分となり、交通費なども含めるとかなりきついです。
- ・公立中高で、塾のような学習指導要領を越えた興味深い指導があれば、塾に行く時間もお金も使わずに済む。
- ・もう少し何とかならないか……。子供の行きたい道に進ませたいが、生活自体を慎ましやかにせざるを得ない。
- ・卒業生の教科書、体操服など リサイクルするなど、できるところから負担軽減をしてほしい
- ・国からの補助金を増やしてほしい
- ・大学を3人卒業させるのは、一般家庭ではとつてもとつても厳しいことだと思います。奨学金も借りすぎると、将来子どもが返すのが大変になること、保証人も両親以外に必要ですし、負担がとつても大きいです。2人目からは大学が無料などという取り組みをしていただけるとうれしいです。
- ・高等教育までの教育費用を補助することが教育機会の格差是正や少子化対策につながる。短期的な歳入増や歳出削減よりも、将来的な次世代育成や長期的な歳入増を優先した施策を検討してほしい。
- ・高校まで無償であって欲しい。

(4) 放課後学習について

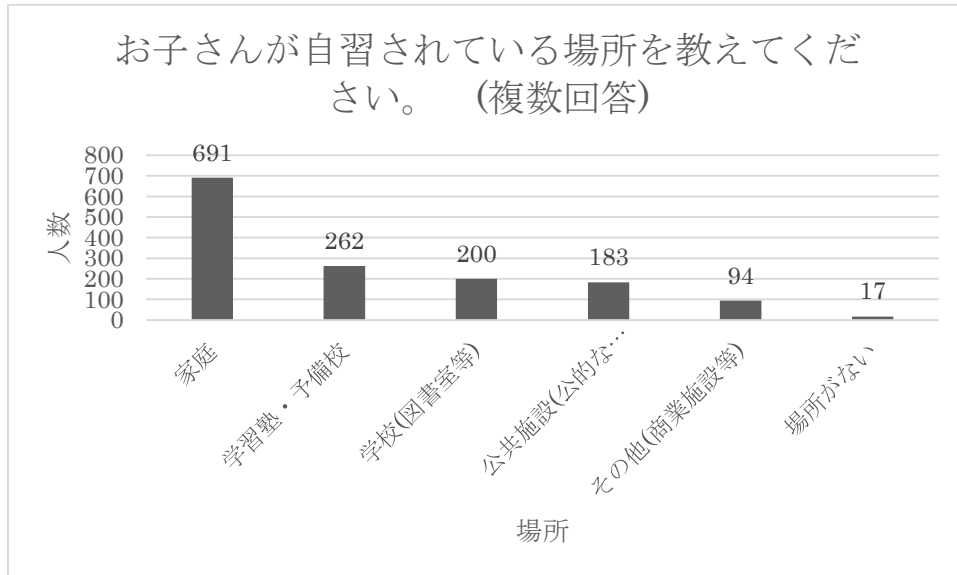
設問 12 (放課後学習(1))



設問 13 (放課後学習(2))



設問 14 (放課後学習(3))



設問 15 (放課後学習(4))

放課後学習についてご意見があれば教えてください。

- ・場所だけの提供ではなく先生を配置してほしい
- ・現住所(中野区)では公的な自習できる場所が少ないと思う。人口が多すぎるので難しいと思うが図書館などはいつも満員だし、公民館などでも学習スペースはない。40年前の武蔵野市は、身近なコミュニティセンターなどでも自習でき恵まれていたが。
- ・娘曰く、放課後より早朝に学校で勉強した方が、静かで身につくらしいです。今の高校は始業まえの早朝も校内に入れるのでよく利用しています。
- ・学校を解放してほしい。
- ・色々な高校の生徒が集まれる道場のような場があるとよい。
- ・現在 2 人の子共を別々の都立高校に通わせていますが、放課後の自習環境や補講内容の充実度はかなり違います。仕方がないことだとは思いますが、都立高校で進学先によって学校をまたいで補講が受けられるようになったらいいと思います。
- ・本人次第ではあるが、やり方を相談できる環境や、自習室などの施設は充実してほしい。
- ・学校全体で学校で勉強するという意識をもっと高めて欲しい。残って勉強は出来ないと言っている事が時々あります。
- ・放課後、分からない所を聞きに行っても、分かるまで教えてくれます。また、授業以外でも特別に夏休み等、個別で教えてくれます。手厚い学習に至れり尽くせりです。
- ・公立なので仕方がないとは思いますが、校内に大学の案内や赤本などが揃っている独立した自習室があればと思います。
- ・部活がいそがしくなかなか参加できなかつたりする。そういう時は学習を優先するようにしてほしい
- ・部活があるので、なかなか利用するまでに至らないそうです。苦手科目は早めに理解出来るように、補講などを受けられるようになるといい。
- ・三年生が主に利用しているようです。食事を気軽に出来る所を作るのがわが子は苦手なので結局空き時間があっても帰宅後してしまうので、もったいない気がします。食事出来るすべてって・・・
- ・南平高校で放課後学習の話は全く聞かなかった。他校では塾が学校と提携しているところもあり、同じ都立高校なのに、不公平を感じる。
- ・部活がある限りは学校では無理です。下校時間に学校を出るのがやっとなです。

- ・家で頑張る。
- ・もっと、補習をして欲しいです。
- ・空き教室などを利用して、自習できる環境を確保しかてくれているが、私立高校のようにチューターなどを配置してより進学希望者のアドバイスを充実させてほしい
- ・図書館の利用時間をもう少し長くしてほしい。
- ・大学進学にお金かかるのに進学に学習塾に多額の授業料。もっと身になる放課後学習があれば負担も減ります。
- ・先生もいらっしゃるので、積極的に放課後教室をひらいてほしいです。
- ・予備校などに行かなくても、学校内できちんと指導してほしい。とくに夏休みなど長期休暇では、学力に差がつきやすいので、学習塾に行かなくても済むぐらい充実させていただきたい。
- ・補習など他に時間をつくってほしい。予備校に行く空気をたちきってほしい。
- ・学校で勉強できる所があったら良い。
- ・学校で放課後学習をしている生徒を見かけるが、大半は女子である。息子は恐らく学校で放課後学習をした事はない。補講もある様だが、任意のものは部活優先で参加する事はない。学校の先生方は、よく生徒の訪問に付き合っ下さっていると思う。男子生徒ももっと積極的に教えを請えばいいのに、と思う。
- ・私立校並みに定期的に行って欲しい。
- ・先生方も多忙かと思いますが生徒が気軽に質問をできる環境をつくっていただきたい
- ・定時制がある為、放課後に校内を使えないのは不自由だと思う。
- ・学校で自習室を作り解放してほしい。できれば8時くらいまで。近所に自習室がある公共施設がなく、自宅で集中できないときに困っている。
- ・何もしてない。
- ・場所が無いのか、ファストフード店やフードコート、コーヒーショップなどで勉強している姿をよく見かける。軽飲食 OK の公共施設が身近にあればいいのにと思います。鶴川駅前にあるポプリホールのフリースペースではお茶やパンを片手に勉強している学生をよく見かけます。このような場所を増やして欲しいです。
- ・テストの後で、テストでわからなかった内容を理解できるまで、指導者のもと、放課後に学校で自主学習することが出来れば良いと思う。テストを実りのあるものにして欲しい。(中学1年生までは母がみていたが、反抗期や部活が忙しかったりして親ではフォローできない)
- ・私立や進んでいる公立は塾同様の放課後学習があるので今していない学校でもやってほしい

- ・学校で補習をもっと沢山の科目でやってほしい。
- ・テスト期間中以外、まったく勉強しないので、塾に入れ、塾で勉強するだけ。学校の補講も、あるのかすらわからない状態。都立のトップ進学校以外は、補講も充実していないので、大学進学を考えると塾頼み、という教育システムはおかしいと思う。
- ・調布南や神代高校の様に朝学習や放課後学習に力を入れて貰いたいと思います。例えば夏、冬勉強合宿や講習の強化など。塾や予備校など通わなくて良い為に…進学校目指して欲しい!!"
- ・塾に行かなくてもいいくらい補講してほしい
- ・できるだけお願いします
- ・学校の中で、もっと学びたい、主体的に取り組みたい生徒が授業以外に自ら取り組みたい教科を深く学ぶ自主ゼミを取り入れてほしい。
- ・学校全体に放課後学習や始業前学習、長期休暇期間の補講等に積極的に参加する雰囲気があるといい。また先生も生徒のモチベーションが上がるような指導をしてほしい。
- ・学校では色々機会を設けているし、個別に対応もしてくれるようだが、本人が活用する意欲や時間もない。(部活動のため)
- ・先生方に負担かけるとは思いますが、補講の時間を増やして欲しいです。
- ・学校でとても良く先生方が面倒を見てくださっているので塾も行かず志望校に合格出来た
- ・もっともっと補講を充実させてほしい。子供の意識も変わるはず。その環境は物凄く必要だと思います。
- ・もっと学習する時間をとりたいが、部活に時間・体力をとられ過ぎていると感じる。引退するか辞めるかしないのか。実際、部活を辞める生徒も出ていて、そう選択せざるを得なかった状況を本当に残念に思う。どこで学習するかより、部活をやっても学習の時間・体力が残る程度にしてほしい。
- ・試験一週間前の部活がない日は、学校の教室で勉強して欲しい。部活がないと、休憩する時間だと思っている。
- ・学習の深化、充実を図るためにも、帰宅が遅くならない範囲で課外学習を充実するのは大変望ましい。
- ・学校に学習室が欲しい。静かに勉強できる環境が欲しい。
- ・受験期には、塾や予備校に行かせないと、力がつかない現状があり、経済的に負担が大きい。学校の学習だけで十分な力がつくように、なるとよいのだが…。
- ・質問したい事があっても、教科担当の先生がつかまらない(どこにおられるかわからない)と子供が話しています。

- ・何のための放課後学習なのか?受験の為?単なる補講?次世代の生徒候補たちへのパフォーマンス?意図がわからないまま3年間終わった気がする。方針が定まっていなければムダ。特に3年生になってからは受験生には対策講座でないならいらぬ。ポーズで生徒を振り回さないで欲しい。
- ・毎日部活動があり、なかなか出来ません。部でも放課後学習の日を設けるなどしていただけると、学習意欲も上がると思います。
- ・自由参加ではなく、成績不振者は強制にしてほしい
- ・先生に質問したいが授業や授業以外のことで忙しくなかなかつかまらない。わからないことがわからないままになってしまう
- ・先生も大変だとは思いますが、放課後での補講はあまりないので定期テストの前等にわからない子は強制的に参加させるようなかんじで行なってもらいたい。
- ・本人がやる気にならないと全く意味がない。
- ・周りの友達同士で刺激しあって勉強できる環境があればいい
- ・普段は部活が忙しく、勉強する時間が殆どありません。ただテスト前など部活がない時に、補習などで分からない所を見て欲しいです。
- ・学校での補修を増やして欲しい。土曜日補修がこの一年間で一度もない。公立と私立との差が余りにも大きい。
- ・学校の教室しか席が空いてない時に教室では自習が出来る状態ではないし、図書館で友達に勉強を教えようとしたらうるさいからダメだと言われて、結局勉強出来なかったようです。
- ・学校にも自習室はありますがテスト前は席がうまっていて勉強出来ないようです。もっと増やして欲しい。
- ・塾に通う必要がないというくらいになればいいと思う。
- ・長期休みには能力別に補講を行って欲しい。有料でも参加させたいと思う講義をお願いします。
- ・放課後もっと先生方に気軽に質問等出来る様にしてもらえたら良いと思う。
- ・学校での放課後学習の場所が廊下や踊り場というのは、進学校の設備としてはあまりにお粗末。国立高校のような自習室が欲しい。
- ・学校に自習室を設置してほしい
- ・現在は自宅で自力で行っています。学校、部活で手一杯な様なので、折を見て塾も考えますが、本人の意思を尊重しようと思っています。校内で半強制的に出来ていない子達を集めて部分的な補講があると嬉しいですね。

- ・学校だけでも受験が出来るように指導してほしい。
- ・学校からはあまり塾を利用しないように言われているが、成績が上がるわけでもなくどうしていいかわからない。
- ・学校でもう少し場所があるといい。上級生が先に取ってしまうのでなかなか学校でできない。
- ・学校の解放時間が短すぎる。公立は先生のいる時間も解放時間も短すぎて、部活があると厳しい。成績が思わしくない生徒に一人一人関わっていない。放って置かれる。一対一でしっかり指導してほしい。
- ・塾へ通わなくても済むように、学校で塾と同じくらいの学習をさせてもらえると、経済的に助かる。
- ・単位の足りない子どもの補講のみです。
- ・クラブ活動を行っていても学校で夏期・冬季・放課後に行って欲しい。
- ・補習の時間をもっと増やして充実した内容でおこなってほしい。学校で受けられる模試の機会を増やしてほしい。
- ・部活動の時間が長過ぎて学習する体力が残っていない。
- ・図書館での勉強は正式には許されていない。公共施設の自習室が欲しい。
- ・放課後学習・土曜学習など自習形式であるようだが、もっとわからないところを聞きやすい補足的なものをしてもらえればいいと思う。自習形式では子供が「意味がない」と感じ、受けないようになった。
- ・部活がある生徒は参加できにくい、あつたほうが良いと思う。
- ・八王子東高校では、授業外で講習をしてくれるので、非常にありがたい。しかし3年生が廊下の床に座って勉強している。図書室が狭く、自習する場所がないからのようである。勉強するスペースは設置してやって欲しいと思う。
- ・学校での補講をもっと充実させてほしい。放課後、先生にわからない箇所を質問したくても、先生が忙しくて教えてもらえない。
- ・学校でもっと積極的に参加できる補習授業を増やして欲しい。必要な生徒には半強制的にでも…
- ・やってほしい。
- ・英語の多聴多読の学習があればよい。英語の本に触れる機会、個別のレベルにあった学習ができるとありがたい。
- ・多分、必要に応じてやってくれていると思うので、特になし。
- ・学校や塾でフリーに使わせてもらっていて助かります。
- ・学校の利用をもっと積極的に奨励してほしい。

- ・学校でも、図書室で学習できるようにしてほしい。
- ・自習室が18時までと終わるのが早い。もっと遅くまで利用できるようにしてほしい。机の数も少ないそうです。
- ・長女は一浪して私立大学に通っております。受験生の時に、勉強場所の確保に苦労していました。あまりにも無音の自習室や図書館は、自分が出してしまう音が気になっていられないというのです。静かめの音楽とか、あるいは街の雑踏の音でもいいから、邪魔にならない程度に流れていて欲しいというのです。それを聞いた時はびっくりしました。でも一理あるなど。おなか空いていけばグーと鳴ってしまう。かといってお腹いっぱいだと眠くなる。静か過ぎる自習室や図書館は勉強場所としては快適ではないのだということなのです。わがままかもしれないけれど、改善の余地はあると思いました。
- ・本人の自主性を尊重しているが、進学希望なので必ず勉強する時間の確保のため、学習塾を利用している。
- ・都立高校なので、私立に比べると手厚くない。自学自習を求められるので、学校のかわりに塾に頼らざるをえない。
- ・スペースも大切ですが、時間配分が子どもにとって適切にとれることも大切だと思います。
- ・学校がもっと充実させてくれたら塾もあまり行かなくてもよいのと思う
- ・生徒全員、平等に学習できるように国で負担するべき。
- ・学校の授業や進路指導だけで、受験の対策ができるようにしてほしい。学校だけでは、一人ひとりに対応しきれないような気がします。そのため、塾などが必要となり、負担が増えるように思います。
- ・毎日部活があり、平日は利用できない
- ・大学生のチューター制度をよく利用しているようです。有難いことです。
- ・小学校～高校まで「任意」での補講をたくさん用意していただいていたが、子供らはなかなか任意では動かない。任意に自ら参加するような子供は補講の必要性はない。
- ・学校は早い時間での完全下校なので 朝学習してもよいとのこと。そういう臨機応変なのは大変ありがたい。
- ・教室が部活場所として使われてしまうと、友達同士での意見交換をする場所が無くなってしまう
- ・外部からの講師も招いて 全ての子供たちに充実させてほしい
- ・部活が終わってからだと、下校時刻となり、学校での学習が出来ない。部活を休まない出来ない状況である。
- ・まり利用されていないときいている。放課後より、土曜授業の充実を希望する。

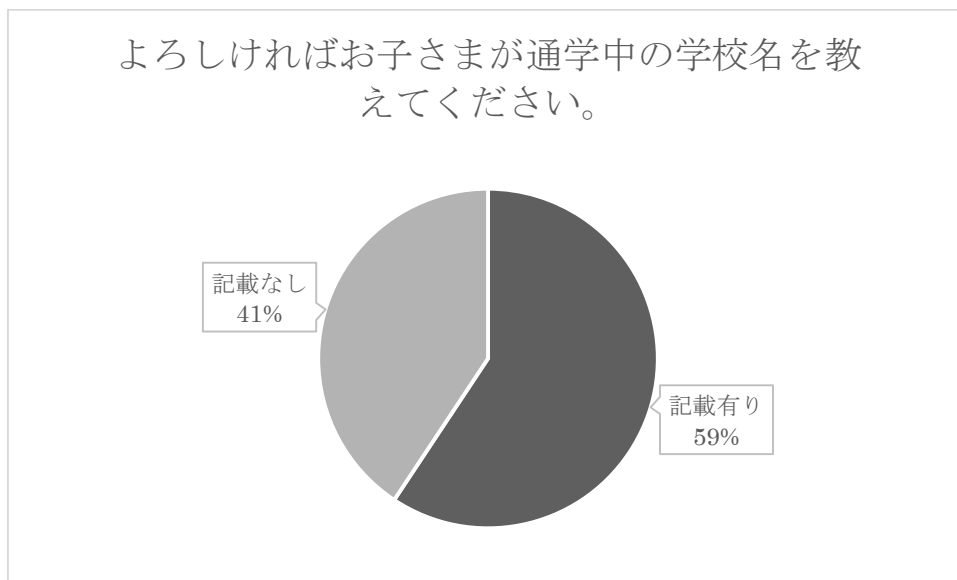
- ・先生方はよく面倒を見てくれていると思う。
- ・学校のバックアップがよく、学校を軸足に頑張っています
- ・塾へ行かなくても学校の点数がもう少し取れるように放課後学習をやってほしいです。
- ・是非、学校で放課後学習ができる教室や時間を設けて欲しい
- ・浪人して当たり前の風習がある。同じ都立でも塾に通わなくても良いくらい日々の学習や放課後、長期休みに学校で対応してくれるところもあり実際に最難関国立の合格率は抜かされている。良い校風は残しながら是非現役合格に導いて頂きたいと思います
- ・自習して欲しい
- ・現在の土曜学習等は宿題をやる場になっている事が多く思います。やる気がある子が参加するものなので、自習型でも分からない所を教える等のスタイルが好ましく思う
- ・学校で具体的な勉強方法を教えてもらえる機会はないのでしょうか。何を勉強したらいいのか…悩んでいるところをみかける。結局は、塾に頼るしかないのでしょうか。
- ・都立も私立のように、進学対策をもっとしていただくと助かる方、大勢いると思います!
- ・強制的に実施すべき
- ・家では、ほとんど勉強しない
- ・充実している
- ・学校で決めて、学習をするようになると良いです。子供が、放課後補習をするので、聞きたいこと、わからないことがある方は、きてください。と言われましたが、先生はいらっしゃらなく、それから、いくことをやめてしまいました。
- ・放課後学習が自習だと、よほど意志がなければ行かないと思う。
- ・7時間、8時間授業を受け、第二外国語を受講し、スポーツ系の部活で朝練もある為、放課後学習を行って欲しいのは山々だが、本人も一杯一杯だと思う。
- ・生徒の進度に対応することが重要。進学校を目指す生徒や補習が必要な生徒に合わせて対応してもらいたい。
- ・他の都立高校では、放課後に先生が行う講習があると聞いたことがある。子供の学校でも、もっと先生に頑張ってもらい講習の充実を図っていただきたい。私立と比較すると歴然の差があり、結果学習塾に頼らざるを得ない。
- ・英語数学の放課後学習があればぜひ利用したい。苦手科目の克服目的ならなお良い。
- ・部活動との両立が難しい
- ・一切していないと思う。親が言っても反発するだけなので、何も言えないので、そういう環境にいられば自力で動くのかもしれないが、なかなか難しい。
- ・今の学校の映像授業はよい。台数が少ないと子どもが知っている。希望者には勉強をする機会が均等に得られるように、このようなシステムづくりをもっと推し進めて欲しい。

- ・本人に任せるべきとおもっている。
- ・塾は生徒が多く、自分の場所を確保するのが困難。中学生がうるさいらしい。快適な温湿度で高校生が落ち着いて学習できる場所がなかなかない。
- ・放課後は 20 時頃まで、定期試験前は土日でも利用できるような自習室の設置を要望します。
- ・先生方の仕事が忙しいのは承知していますが、わからない事をわからないままにしていると、その科目そのものが嫌いになってしまうので、そうなる前に簡単でも補習時間を定期的にも設けて貰いたいです。
- ・例年 6 学年は頑張っています。
- ・勉強しなさいと言った事は、一度もなく自分で計画を立て勉強するタイプの子どもです。学習塾に行った事もないです。ただ学校で放課後に勉強するのは、気分転換になるかもと子どもから聞いた事があります。
- ・本人のやる気次第だと思います。
- ・私は自習室を運営しており、月に一万円で毎日これます。二年生までは学校の授業予習復習、宿題がメインです。高校三年生になってから低額の自習動画コンテンツで補習と、大学別にキャリアコンサルやメンタルサポートをしたいです。
- ・学校で補講をしているのか、子供に聞いても答えがないのでわかりませんが、学校には親子共満足しています。
- ・試験前だけではなく、普段も取り組んでほしいが、取り組んでいない。
- ・学校の自習室や図書館はありますが、せっかく勉強できるスペースがあるのに、時間が十分でないので意味がない。
- ・家庭学習は最も大事だが、学校で自習をする際に教師がフォローできる環境を整備してほしい。教師の人数が足りなくて手が足りないような状況となるとすれば、行政の怠慢。
- ・部活との両立は無理だと思います。長期休暇中は半日補講。半日部活でスケジュールしてもらえたら非常に有効だと思います。それ以前に課題を増やすとか、朝小テストを行うとか工夫して欲しいです。
- ・今の都 P には言いたくない
- ・校内や近隣の図書館にもっと学習専用のスペースがあると良い。
- ・学校内で支援があれば助かる
- ・子供の進歩状況に応じて、学校での少人数の補修学習があるとありがたい。
- ・塾代が高い
- ・自分では勉強をしないので、課題をこまめに出してほしい。
- ・放課後学習の話は聞いたことがない。模試の機会が多いが、その後の補講や説明会は無いと子供から聞いている。テストの点数だけが大事なのか。底上げをしようという熱心さは感じられない学校である。

- ・もっと積極的に学生に学校側は声を掛けて欲しい。また親にもこんな内容の補習がありませんなどと知らせて欲しい。
- ・成績が悪い子供は学校から指名されて強制的に放課後学習を行ってほしいです。
- ・図書室とは別に自習室など、勉強しやすい場所をもっと作ってほしいです。また進路相談やわからない部分の質問など気軽にしやすい時間、場所を作ってほしいです
- ・ないのでわからない。
- ・部活に遅れたりする事も気軽に出来ればと思います。
- ・赤点をとったら強制的に補習授業をして欲しい。
- ・先生によって温度差がありすぎます。子供の意欲をそぐ、先生のやる気なさには落胆します。実績のある先生が転出してしまい、子供ともどもとても残念でなりません。後任の人事をきちんとしてください。
- ・高校において、基礎レベルの講習だけでなく、応用力強化の講習もあると、良いと思います。
- ・自習室やテスト前には OB の方に指導していただける機会もあるのですが、そこへでむくのはなかなかハードルが高く利用できていないようです。
- ・部活動ばかり、先生からの抑制がない。従って学習しない。
- ・学校で補講などがあれば積極的に参加させたいと思います。
- ・やるかやらないか、何にをやるか、量など全ては自分で考えて選択すべき。やらされるとこは身に付かない。
- ・図書館の開館時間が短いので、もう少し、図書館の時間を延長していただいて、自宅以外で近くで勉強できる施設があるといいと思います。
- ・学校への支援よりも、格差の要因になっている校外学習への支援、補助を考えてほしい。
- ・是非 学校で学ばせて頂きたい。

(5) その他

設問 16 (学校名について)



(6) 回答数

以下のように多数の保護者の皆さんから回答が得られました。

回答数 826 件

※同一送信元から重複して回答することは、アンケートシステムで禁止しているので、この数字が実際の回答数として信頼性のある数字です。

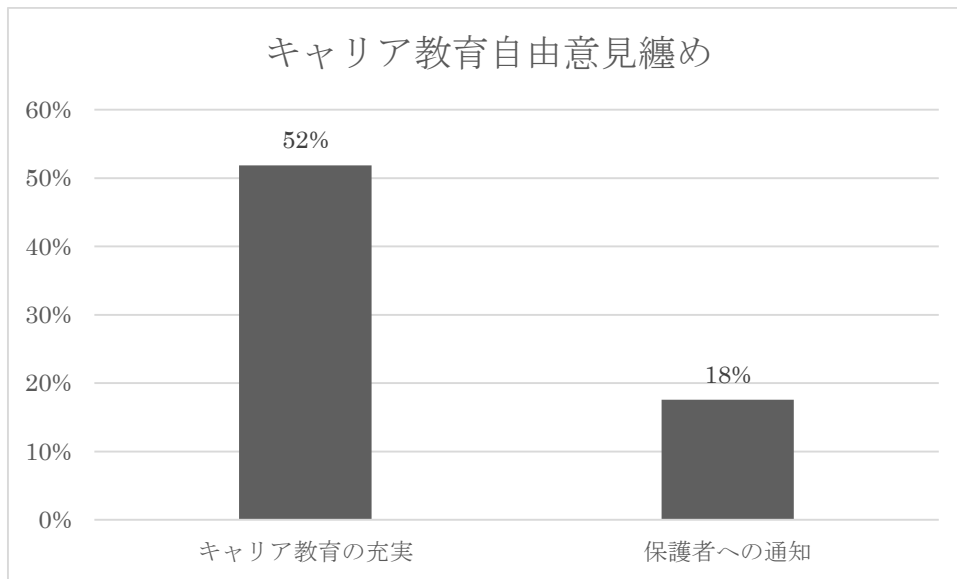
3. 考察

(1) アンケート回答について

高校3年生の保護者の回答が少なかったのは、回答期限が3月末であり卒業と重なった為と推察されます。

(2) キャリア教育について

キャリア教育についての自由意見を集計しました。



<キャリア教育の充実>

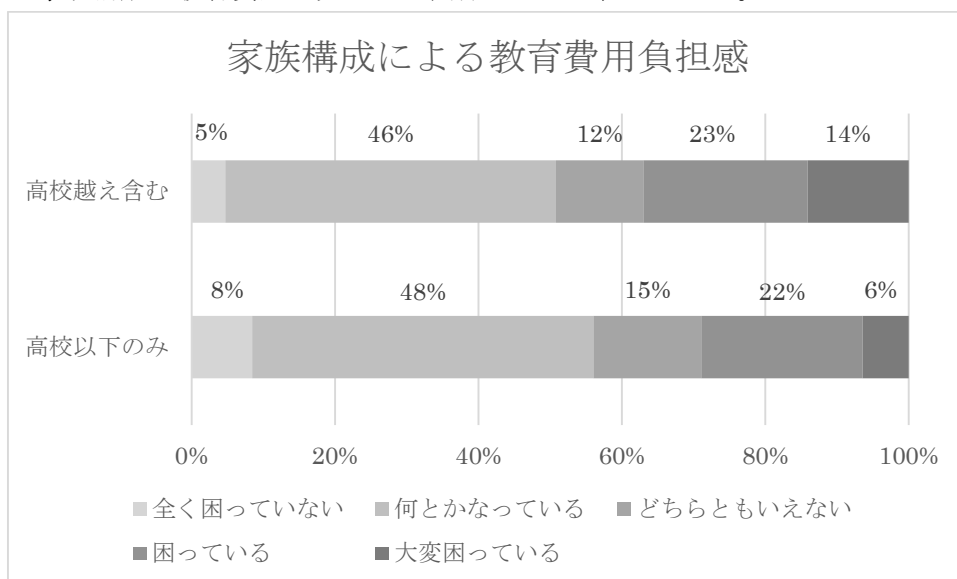
- ・52%の方が、キャリア教育の充実を望んでいます。
機会を増やしてほしい。
内容を充実してほしい。(職場見学や職業体験等)

<保護者への通知>

- ・18%の方が、学校でのキャリア教育の内容を教えてほしいと回答しています。

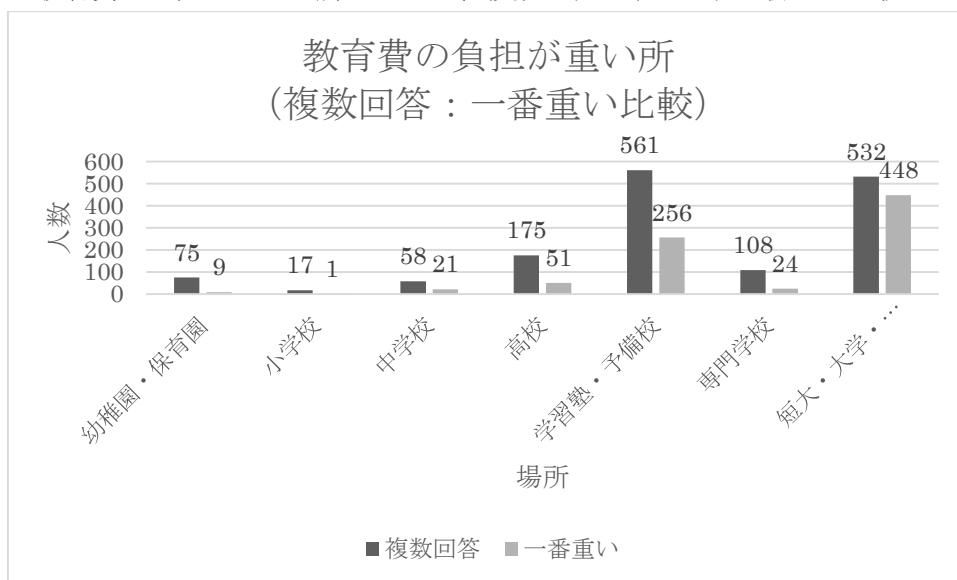
(3) 教育費用について

家族構成と教育費用の負担感の関係をグラフ化しました。



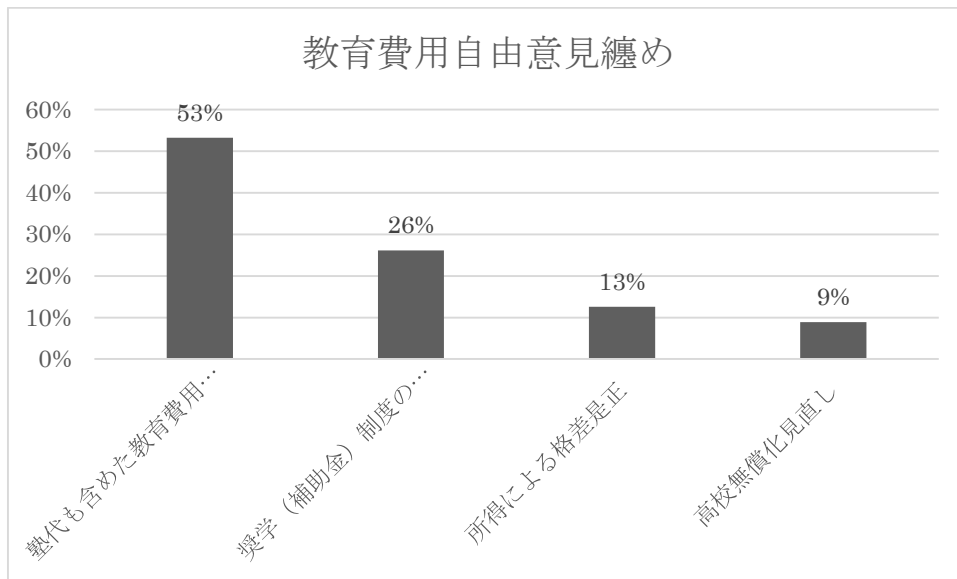
・高校越え（浪人生、専門学校、短大・大学・大学院、社会人）の子どもがいる家庭では、「大変困っている」が14%と高校以下の子どもをみの家庭の6%から倍以上に増加している。

教育費用の負担が重い所について、複数回答と単独回答を併せて比較しました。



・複数回答では、学習塾・予備校と短大・大学が同数程度でしたが、一番負担が重い所では短大・大学が一位になっている。(塾・予備校も負担も大きいですが、大学の負担がもっと大きい)

教育費用の自由意見について纏めました。



<塾代も含めた教育費用の低減>

- ・教育費用（塾代、大学代等を含む）の低減を 53%の方が望んでいます。

<奨学（補助金）制度の充実>

- ・奨学金制度の見直し、補助金（減税も含む）の充実を 26%の方が望んでいます。

<所得による格差是正>

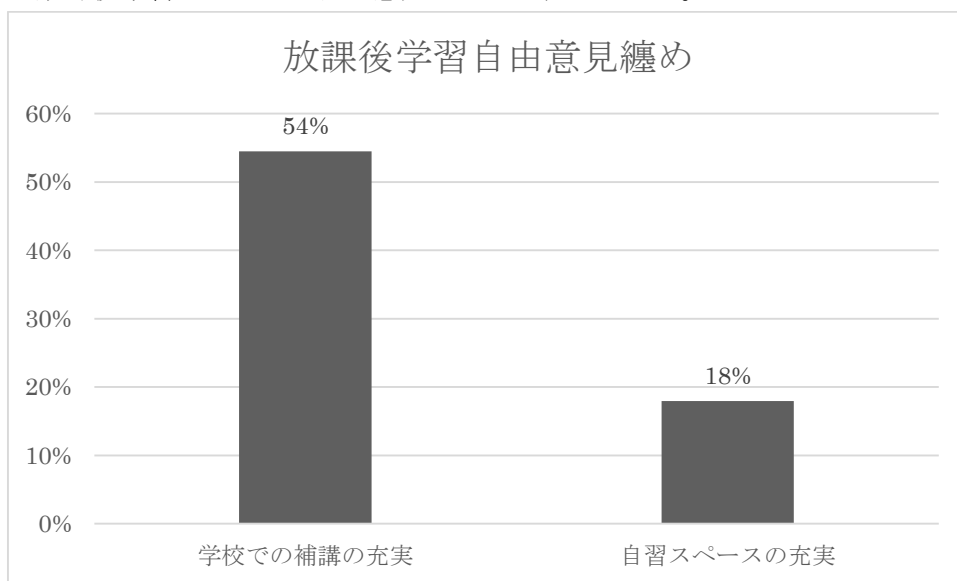
- ・世帯所得による受けられる教育の格差の是正を 13%の方が望んでします。

<高校無償化見直し>

- ・高校無償化について制度の見直しを 9%の方が望んでします。

(4) 放課後学習について

放課後学習についての自由意見について纏めました。



<学校での補講の充実>

- ・学校での補講充実を 54%の方が望んでいます。

<自習スペースの充実>

- ・公的な自習スペース（学校を含む）の充実を 18%の方が望んでいます。

以上